



日本歯科大学新潟病院

IVY NEWS LETTER

Vol.31
2016.8.1

～地域歯科診療支援病院と地域医療の融合を目指して～

地域歯科医療支援室長に就任して

日本歯科大学新潟病院
地域歯科医療支援室長

戸谷 収二



本年4月に日本歯科大学新潟病院の地域歯科医療支援室長に就任いたしました。これまで、病院の業務として口腔外科医、看護科長、口のかわき治療外来医長、リスクマネジメント部会長を担当していましたが、新たに病院としての重要な役割の1つである地域歯科医療支援室を担当することとなり身の引き締まる思いです。

当院は各地域医療機関からの紹介患者の初診予約・返書管理等の取り組み、各医療機関との連携として、患者中心の顔の見える連携と地域医療を支える多くの医療機関との機能分担に積極的に取り組んできました。特に在宅歯科医療支援事業には、医療・介護・福祉に関わる人達とより積極的に取り組みたいと思っています。新潟市中央区医療圏における在宅医療やその連携活動として地域包括ケアシステムが構築されてきていますが、まだまだ、改善・充実に向けた対応が必要と思われます。新潟市の医療圏に住む人達の在宅医療を少しでも支えることが出来ればと考えています。

当院が期待されていることを認識し、地域歯科医療支援室として対応できる医療連携をはじめ、さまざまなことに取り組んでいきたいと思いますので今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

2016年6月 戸谷 収二





診療報酬改定に伴う情報提供

●日本歯科大学新潟病院
口腔外科診療科医長

高田 正典



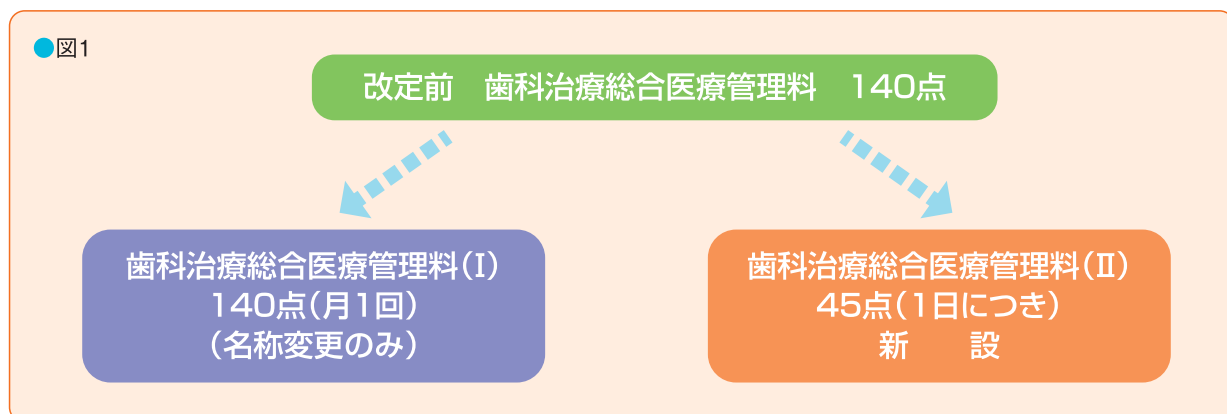
◆平成28年度診療報酬改定の概要

平成28年度診療報酬が改定され、数ヶ月が経過しようとしています。今回の改訂では、かかりつけ歯科医機能強化型診療所(か強診)や在宅医療の推進、周術期口腔機能管理の見直し、栄養サポートチームへの歯科医師参画。また、新規医療技術の保険導入(レジン前装金属冠の小白歯への適応拡大、歯冠補綴物の色調採得の評価、ファイバーポスト導入に伴う技術評価など)、先進医療技術の保険導入(有床義歯補綴治療における咬合や咀嚼機能検査の評価など)が実施されています。

◆超高齢化社会に対応すべく、患者の全身状態に配慮した医療管理

先に挙げた診療報酬改定すべてを情報提供をするにはページが足りません。原稿作成中に『日本の人口に占める65歳以上の割合は26.7%と、調査開始以来初めて25%を上回り、4人に1人が高齢者となった。』と報道がありました。そこで今回は歯科治療を行うに当たり、総合的医療管理が必要とし、患者の全身状態等に配慮して医療管理を行った場合に算定できる歯科治療総合医療管理料(以下、医管)について情報提供させていただきます。この医管は平成16年度保険改訂で新設されたものですが、今回の改訂により従来の医管は変更無く(➡医管I)、医科からの情報提供は不要、主治医による判断で実施できる医管IIが新設(図1)されました。それまで医科への情報提供がないと算定できず、機器の設備投資を行わなければならなかったモニタリングが簡素化されました。そこで医管I、医管IIの比較を表1に示します。

●図1



◆医管Ⅱ

●表1	歯科治療総合医療管理料(I)	歯科治療総合医療管理料(Ⅱ)
点 数	140点	45点
算 定 回 数	月1回	1日につき(同月複数回算定可)
対 象 患 者	厚生労働大臣が定める疾患を主病とする患者	高血圧性疾患、虚血性心疾患、不整脈、心不全又は脳血管障害がある患者
施 設 基 準	届出必要	届出必要
保健医療機関の整備	全身状態の把握、管理等に必要な呼吸心拍監視装置等の機器、機材等	全身状態の把握、管理等に必要な機器、機材等
算 定 要 件	情報提供等に基づき、患者の全身状態の管理を行った場合	血圧、脈拍、経皮的酸素飽和度を経時的に監視
医学管理中の行為	第8部処置(区分番号I009 外科後処置、I009-2 創傷処置、I010 歯周疾患処置、I011-3 歯周基本治療処置を除く) 第9部手術 第12部歯冠修復及び欠損補綴(区分番号MOO1:歯冠形成、MOO2:支台築造、MOO3:印象採得)	第8部処置(区分番号I009 外科後処置、I009-2 創傷処置、I010 歯周疾患処置、I011-3 歯周基本治療処置を除く) 第9部手術 第12部歯冠修復及び欠損補綴(区分番号MOO1:歯冠形成、MOO2:支台築造、MOO3:印象採得)
診 療 録 記 載	管理内容及び患者の全身状態の要点	管理内容及び患者の全身状態の要点
記 載 要 領	「その他」欄に医管Ⅰと表示、保健医療機関の名称を「摘要」欄記載	「その他」欄に医管Ⅱと表示、当該管理対象の医科主病名を「摘要」欄記載
併算定できない	呼吸心拍監視、新生児心拍・呼吸監視、カルジオスコープ(ハートスコープ)、カルジオタコスコープ及び簡単な鎮静が含まれる	呼吸心拍監視、新生児心拍・呼吸監視、カルジオスコープ(ハートスコープ)、カルジオタコスコープを算定した日
他の管理料との併算定不可	周術期口腔機能管理料(I,Ⅱ,Ⅲ)、歯科治療総合医療管理料(Ⅱ)	周術期口腔機能管理料(I,Ⅱ,Ⅲ)、歯科治療総合医療管理料(I)

表1に示しました医管Ⅱについては、医科への診療情報提供を行った上で全身状態管等の把握、管理等に必要な呼吸心拍監視装置等の機器、機材等が整備されていなくてはならないなどハードルが高いと諦めていた先生方も多いと思います。しかし、医療連携を行う事で過去から現在まで患者の状態を把握できる事。また、モニタリング中に患者自身が自覚症状無くても異常を来した場合、早期に対応できるなどのメリットがあります。

医管Ⅱは、高血圧性疾患、虚血性心疾患、不整脈、心不全又は脳血管障害がある患者に対して、歯科治療時における患者の全身状態の変化等を把握するため、患者の血圧、脈拍、経皮的酸素飽和度を経時的に監視し、必要な医療管理を行った場合に算定が可能です。つまり、先に挙げた主病名のある患者に対して診療情報提供を行う必要がなく、患者の血圧、脈拍、経皮的酸素飽和度を経時的に測定し、必要な医療管理を行った場合に算定が可能となりました。機器、機材についてもパルスオキシメーターと血圧計があれば要件は満たしています。最近の機器は低価格で販売されており、パルスオキシメーターと血圧計の一体式(写真1)も販売されております。処置、手術、補綴治療時に算定できる事から、日頃から患者の全身状態を把握できる事で医療安全の観点からも検討してみてもいいのではないでしょうか。



●写真1



ロキソプロフェンナトリウムによる 小腸・大腸の潰瘍に伴う、 狭窄・閉塞について

●日本歯科大学新潟病院
薬剤科科長
竹野 敏彦



●ロキソニン®S



●ロキソニン®錠60mg

平成28年3月22日付、厚生労働省 薬生安発0322第1号にロキソプロフェンナトリウム水和物(経口剤)に関し、重大な副作用に「小腸・大腸の潰瘍に伴い、狭窄・閉塞があらわれることがあるので、観察を十分に行い、悪心・嘔吐、腹痛、腹部膨満等症状が認められた場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行うこと。」を追記する旨通知がありました。これを受けロキソニン®錠60mg/同細粒10%の添付文書も改訂が行われました。

外傷や手術による組織障害が起きると局所に炎症が生じます。組織損傷が起こると、炎症メディエーターとしてブラジキニンやヒスタミン、プロスタグランジンなどが産生されます。ブラジキニンは、侵害刺激を伝える自由神経末梢のポリモーダル受容体の最も強い刺激物質です。また、組織障害の細胞膜よりホスホリパーゼA2の作用によりアラキドン酸が生成されます。このアラキドン酸はCyclo-oxygenase(COX)によりProstaglandin

(PG)が生成されます。PGは単独では殆ど発痛作用を示しませんが、組織損傷・炎症部位でブラジキニンの反応性を高めます。(特にPGE2、PGI2は作用が強いとされています)

ロキソニン®を含む非ステロイド性抗炎症薬(Non-Steroidal Anti-Inflammatory Drug; NSAID)は、COXを阻害しPGの抑制作用により炎症性疼痛に対し鎮痛効果を発揮します。COXにはCOX-1、COX-2があり、COX-1は組織に常時発現し腎血流維持、血管拡張、血小板凝集、胃粘膜保護などの生体の恒常性維持に必要なPGを産生しています。COX-2は炎症

反応によって誘導されてくるとされています（現在作用については不明ですが、脳、脊髄、腎、精巣には常時発現しているとされています）。従って、NSAIDsが鎮痛効果を発揮するのはCOX-2阻害によるものです。一方、COX-1阻害によりNSAIDsの副作用である胃粘障害、腎障害、出血傾向などが発現します。

上記の内容から、ロキソニン[®]錠60mg/同細粒10%の添付文書の禁忌事項に「消化性潰瘍のある患者」に関する記載があり、重大な副作用事項に「重篤な消化性潰瘍又は小腸、大腸からの吐血、下血、血便等の消化管出血が出現し、それに伴うショックがあらわれることがある」と記載があります。しかし、今回の添付文書の改訂では更に、潰瘍に伴い、狭窄・閉塞があらわれることがあると追記がされました。この原因として、NSAIDsによるCOX-1およびCOX-2阻害による、PGの抑制作用が関与しているといわれております。症状発現は、比較的深い輪状傾向を有する潰瘍を形成し、治癒期には輪状、または膜様狭窄を呈する場合もあります。臨床症状としては消化管出血、腹痛、鉄欠乏性貧血、閉塞、潰瘍、狭窄、下痢などになります。

また、平成28年7月5日にジクロフェナクナトリウム（経口）においても、厚労省 薬生安発0705第1号として「消化管の狭窄・閉塞（消化管の潰瘍に伴い、狭窄・閉塞があらわれることがある）」と添付文書改訂指示が通知されました。これを受けボルタレン錠[®]25mg、ボルタレン[®]SRカプセル、ボルタレン[®]サポ12.5mg/同サポ25mg/同サポ50mgの添付文書も改訂が行われました。

ロキソニン[®]、ボルタレン[®]とも歯科領域において処方頻度の高いNSAIDです。処方された場合には、患者へ副作用の初期症状を説明し、副作用が疑われる場合には早期受診をするよう指導をお願いいたします。


●ボルタレン錠[®]

●ボルタレン[®]SR

●ボルタレン[®]座剤50mg



■ 電話・FAXによる事前予約のお願い

日頃より本院の地域歯科医療連携業務につきましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本院では患者様の待ち時間短縮と患者サービス向上を目的とし、FAXによる事前予約システムを導入しております。近年、おかげさまで外来患者数が増加傾向となっており、事前予約のない新患患者様の待ち時間が長くなることがあり、ご迷惑をおかけしています。

紹介患者様の待ち時間を短縮した円滑な診療を目的に、是非ともFAXによる事前予約をご利用くださいますようお願い申し上げます。なお、患者様からの直接電話予約も受け付けております。**(該当の診療科受付)**にお電話ください。

また、口腔外科に抜歯および外科処置目的でご紹介いただいた場合、原則として即日抜歯・即日外科処置は施行しておりません。(緊急時はこの限りではありません。)初診日は、診査・診断となりますので、あわせてご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

日本歯科大学新潟病院地域歯科医療支援室

メールマガジン登録の御案内

- 近年、歯科界を取り巻く情勢は厳しく、医療法改正や診療報酬改正においても、医療安全、院内感染対策をはじめとする研修の義務化や、医科歯科連携を含む他業種との連携強化などが要件として盛り込まれるなど、各種医療情報の早期収集や病診連携が重要になっております。このような現状をふまえ、新潟病院地域歯科医療支援室では、地域の歯科医師を対象に、メールマガジンを開設いたしました。
- 本事業にご登録いただくことにより、新潟病院関係各科からの医療情報や医療安全情報、研修会、講習会、学会情報などの御案内を優先的にさせていただくシステムです。
- 登録ご希望の先生は、申込書を**支援室直通FAX(025-267-1546)**していただきたく存じます。申込書は、新潟病院ホームページ地域歯科医療支援室(<http://www.ngt.ndu.ac.jp/hospital/index.html>)からダウンロードできます。
- なお本システムのサーバ管理は、新潟病院生命歯学部ITセンターにて行います。また地域歯科医療支援室は、本事業における収集した個人情報の漏洩、滅失又は棄損の防止、その他収集した情報の適切な管理のために必要な措置を講じます。

【注意事項】

受信される先生のメール環境によっては、マガジンのメール容量が重いため配信できない方がおられます。添付ファイルの軽量化を図るなど、改善策を講じておりますので、しばらくお待ちください。

【免責事項】

メールの配信については、回線上的問題(メールの遅延、消失)等により届かなかった場合の再送は行いません。本事業は、新潟病院の都合により、「新潟病院ホームページ」において予告した後に中止又は廃止されることがあります。新潟病院は、本事業の利用、運用の中止、延期、終了等により発生する一切の責任を負いません。



- 本メールマガジンへのお問い合わせ、ご意見、ご希望ありましたら、shien@ngt.ndu.ac.jpまでお寄せください。

編集
後記

- 夏本番。病院の外壁を覆うアイヴィの葉も青々と茂り、強い生命力を感じる季節。地球の反対側ではオリンピックも開催されます。我々も熱中症や食中毒に気を付けながら生き生きと楽しく過ごしたいですね。(中村俊美)



日本歯科大学新潟病院

IVY NEWS LETTER



発行日／平成28年8月1日 発行人／山口 晃
〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8
TEL 025-267-1500(代) FAX 025-267-1546(支援室直通)